

社協評価事業（社協力向上プロジェクト事業）総括評価

社協名	社会福祉法人 阿武町社会福祉協議会
第三者評価日	平成29年10月31日（火）
現時点の社協力	<p>(第三者評価者の視点)「社協の現在の姿の一部」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢、障害、児童、更生保護分野等それぞれで幅広く地域福祉を推進する団体の事務局を受託しており、それらの団体と連携協働した事業を実施している。 ・高齢者と障がい者の相談窓口機関が社協に一本化されており、利用者に対して、細やかなサービス提供が可能となっており、困った時は社協へ相談と頼りにされている。 ・地域福祉部門と在宅サービス事業部門が同じ室内にあることで、町内の地域課題の共有及び生活支援に取り組める職場環境が整っている。 ・地域の課題を局内で協議しており、課題解決に向けた取組を全職員共通理解の基に進めている。
	<p>(阿武町社協側の視点)「強み：PRポイント」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉部門と在宅サービス部門で地域課題の共有ができ、解決に向けた取り組みが共通理解の基できる。 ・行政、社協、他の社会福祉法人と福祉推進に関する連携がとれている。
3年後にめざす社協像	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉ニーズに的確に対応出来る社協
社協力向上経過レポート	<p>(平成30年度)</p> <p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症講演会にキャラバンメイトさんを巻き込み一緒に行う。 ・居宅、包括の職員と役割分担をして企画、運営を行った。 ・新しい事業を計画した。 <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政とはうまく連携が取れている。 ・役割分担をすることで、いろんな意見が出て職員間の連携がとれている
	<p>(令和元年度)</p> <p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が次年度の事業を考え全体会で検討して行った。 ・全職員で役割を分担し講演等企画、運営した。 <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前より社協内の連携がとれるようになった。 ・役員の全員協議会を何度か開催してほしいと前向きな意見がでた。

(令和2年度)

《実施状況》

- ・福賀地区で生活支援の一つとして自家用車有償送迎の話し合いに参加した。
- ・職員研修会を開催した。
- ・コロナ禍の中で事業の内容を考えながら実施した。

《成果》

- ・令和3年10月から始動。
- ・職員が意欲的に研修会に参加した。
- ・年度当初は全く事業が出来なかったが、模索しながら事業実施につなげていった。